

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200435		
法人名	社会福祉法人恵仁福祉協会		
事業所名	下原グループホーム		
所在地	長野県上田市真田町本原668-1		
自己評価作成日	平成 26年 1月 31日	評価結果市町村受理日	平成 26年 3月 31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.in/20/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;IjvovsoCd=2072200435-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.in/20/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;IjvovsoCd=2072200435-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 26年 2月 7日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成24年5月に、中原から下原へ引っ越しをし2年目を迎えました。中原では古民家をお借りし、家の持つ懐かしい雰囲気の中お年寄りが過ごしてきましたが、建築基準法、消防法の改正に伴い皆様の安全を考え下原へ新築移転をしました。また隣に新たにグループホームを増築し平成26年度開所予定です。  
 下原でも6名と少人数でゆったりと日常を過ごしています。玄関を開けるととても広い土間があり、そこから台所、食卓、二間つづきの居間へと上がる事ができ、居間の窓からは里山の四季折々の開放感あふれる景色がとてもきれいです。中原でも大事にしていた、日常の当たり前の暮らしの中から、にじみ出る温かな人間関係を大切に得意な事、楽しみながら出来る事に着目して自信を持って自分らし

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

真田氏三代の歴史を時代を追って展示している「真田氏歴史館」のある本原地区には上原、中原、下原の各区があり、その中原区で12年間古民家改修のホームとして運営され地域の人々に愛されてきた「中原グループホーム」が平成24年5月1日に新築移転「下原グループホーム」として開設され2年目に入っている。広い土間と上がり框、居間と座敷、長い廊下などの昔ながらの様式を残し、ガラス障子や襖などで空間が仕切れるようになっており日本家屋の使い勝手の良さが随所に見え、畳、障子をふんだんに使うことで利用者が安心して穏やかに住むことができるようになっている。移転先でも地域の人々との交流が着々と進んでおり、下原区の中の37組という隣組の伍長という役割も担ったり、ゴミステーションの掃除当番や花壇の水やり・草取りなどにも利用者や職員が参加している。「下原グループホーム便り」を作り、38ある隣組にも回覧し、「認知症一ロメ」のコーナーを設けたりしてホームや認知症について理解を深めていただくための取組みもしている。法人主催のSOS訓練もグループホームのある各地区で住民の協力を得ながら順次実施しており万が一の離脱等に備えている。地区のいきいきサロンにも毎月数名の方が参加し、歌を唄ったりお茶を飲んだりして地区のお年よりとふれあい馴染みの関係を築きつつある。今年の春には現ホーム西側に増床部分として1ユニット6名の棟が完成する予定で、1月に行なわれた土地の慣わしの棟上げ式の餅投げにも数十名の住民の方にのお祝いも兼ね集っていただいた。「住み慣れた地域で自分らしく生き生き」というホームの理念を着実に実践し、利用者、家族、地域の人々と十数年間にわたり積み重ねてきた成果が増床という目に見える形となって現れている。新築移転してから2年、更に2ユニットのグループホームとして新しいページを開こうとしている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		